

日東交通路線バス金谷線の廃止申出に係る 千葉県バス対策地域協議会の協議結果について

1. 概要

路線バス金谷線（東京湾フェリー～亀田病院）について、本年9月25日付けで日東交通株式会社から乗務員不足等を理由に、千葉県バス対策地域協議会に対し、協議申出（路線の廃止）があった。その後、同年12月に協議会安房分科会が開催され、各市から意見を述べたところ、令和6年4月1日付で廃止される方針が決定した。これまでの検討経緯等を踏まえ、廃止の方針決定に至った経緯と今後の対応予定について報告する。

2. 路線の概況

本路線は、以前、国及び県から運行費補助を受けていたが、利用者の減少により、平成29年10月1日以降の運行分から国県補助が対象外となることを受け、関係者間で協議し、以降3年間は2市1町（鴨川市、鋸南町、富津市）が国県補助相当分を補助することで維持することとなった。

令和元年12月6日付けで再び協議申出（路線の廃止※R2.10.1予定）があり、再度関係者間で協議し、令和2年10月1日以降の運行分からは2市1町で赤字全額を補助することで維持してきた。

○金谷線の利用者数及び補助金額（直近5年間）

年度		H30	R01	R02	R03	R04
利用者数（人）		29,737	28,285	20,337	21,123	23,719
補助金額（千円）		5,398	5,826	6,064	17,205	16,900
内 訳	鴨川市（60.885%）	3,278	3,538	3,682	10,447	10,289
	鋸南町（28.591%）	1,550	1,673	1,741	4,940	4,832
	富津市（10.524%）	570	616	641	1,818	1,779

3. 住民への説明・周知時期・方針について

市内全域については、千葉県バス対策地域協議会安房分科会の発表に伴い、市ホームページで公表するとともに、2月号の広報ふっつで周知を行う。

ただし、特に影響が考えられる沿線地区（金谷地区、峰上地区）へは、全体周知に先立ち、それぞれ区長へ現状について説明を行ったうえで、令和6年1月11日の区長回覧にて本件についての住民への周知を行った。

なお、日東交通株式会社は、路線廃止の1か月前を目途に、営業所や各バス停への掲示、日東交通HPでの公表を考えていると聴取している。

また、廃止に伴っての代替交通手段の確保策等については、関係する自治体及び地域、事業者と協議を行っている。

別記第7号様式

千葉県バス対策地域協議会第1回分科会協議結果総括表

分科会名：安房分科会
 協議年月日：令和6年1月12日

(協議終了路線)

次の協議路線については、分科会において協議した結果、事業者の協議申出を了承し、協議を終了することとしましたのでお知らせいたします。

		協議路線		関係 市町村	分科会における協議結果	備考
事業者名	路線名	起点・終点 (経由地)	協議申出内容 (実施予定年月日)			
日東交通 株式会社	金谷線	亀田病院・東京湾 フェリー (鴨川駅前)	路線の廃止 (令和6年4月1日)	鴨川市 鋸南町 富津市	申出のとおり令和6年4月1日付けで当該路線を廃止する。なお、今後の生活交通の確保については、沿線市町の地域公共交通会議等で協議していくこととする。	

ふっつし公共交通ニュース

～2024年1月 金谷地区・峰上地区限定版～

発行者：富津市企画課公共交通係（電話 80-1229）

日東交通路線バス「金谷線」の廃止申出について

東京湾フェリー前と亀田病院（鴨川市）を結ぶ路線バス「金谷線」について、運行事業者である日東交通株式会社から乗務員不足等を理由に、令和6年4月1日をもって路線を廃止したい旨の協議申出が千葉県バス対策地域協議会（※）にありました。

廃止となった場合、特に影響が考えられます沿線の金谷地区と峰上地区にお住まいの皆さんに向けて、先行して現状をお知らせいたします。

【路線バス金谷線の運行ルート】



【※千葉県バス対策地域協議会とは】

県民の日常生活に欠くことのできないバス路線を中心とした生活交通の維持・確保方策を協議し、その対策を講ずるため、国、県、市町村、事業者、学識経験者で構成され、千葉県が事務局となっています。バス事業者から今後の運行について協議の申し出のあった路線については、県の地域振興事務所単位で設置する分科会において、路線ごとの具体的な方策について協議しています。

【廃止申出に至った経緯や検討状況等について】

路線バス金谷線は、内房と外房を結ぶアクセス路線として、鴨川方面への観光や通院など様々な目的で市民、来訪者に利用されてきましたが、近年は利用者が減少したことで、国や県の補助金が打切りとなるなど運行継続が難しい状況が続き、平成29年10月以降の運行分からは沿線自治体である本市・鋸南町・鴨川市が運行費を補助することで、路線を維持してきました。

しかし、令和5年9月25日付けでバス事業者から千葉県バス対策地域協議会に対し、「乗務員の不足」等を理由とした路線廃止の協議申出がなされ、沿線市町による運行費の負担だけでは解決が困難な内容であったことから、10月から11月にかけて、金谷地区及び峰上地区の区長さん向けに状況をご説明し、対応についてご相談させていただきました。

地域の意向などを受け、本市としましては、12月に開催されました協議会の会議において、路線の廃止ではなく、減便で対応いただけるようにと意見を申し述べておりますが、実際の運行を担うバス事業者や、費用を負担することとなる他の沿線自治体の意向等を踏まえすと、路線の維持は大変厳しい見通しとなっています。

今後、路線が廃止となる場合を想定し、引き続き関係自治体、事業者等と協議するとともに、鋸南町や鴨川市と行き来するための代替交通の確保に向け、地域に合った移動手段を導入できるよう地域の皆さんと共に話し合いを進めてまいりたいと考えておりますが、当面の間、これまで路線バス金谷線をご利用されていた方は、鉄道等の代替交通手段をご利用くださるようお願いいたします。

また、市民の皆さんも次世代に公共交通というバトンを繋ぐために、日常の移動手段として、積極的に路線バスや鉄道、タクシーなど公共交通機関を利用くださるよう併せてお願いいたします。